

# 図書館だより



## 新学期が始まりました！

今年の春は新型コロナウイルスが世界中を巻き込んで猛威をふるっています。東京オリンピック・パラリンピックは延期が決まり、様々なイベントも中止となっています。外出自粛の要請が続き、こんな時こそ読書だ！と思って市内の図書館に出向くと「休館」の張り紙が貼ってあります。本校図書館も、始業式までは臨時休校に入った際に持ち帰れなかった荷物があちこちに置かれたままの姿で、時を止めているようでした。皆さんの元気な声や姿があってこそ「学校」なのだと思ひ知らされました。しかし再びの臨時休校。まだまだ先の見えない不安な毎日ではありますが、図書館で皆さんの学校生活に安らぎや学びを少しでも提供できるよう準備しています。教室からはちょっと遠いけれど、のぞいてみて下さいね。何かが発見できますように！！



### \*閲覧のきまり

- ・開館時間は昼休みと放課後です。
- ・貸し出しは毎日行い、1人5冊まで、期間は7日間です。

### \*図書室でのマナーを守りましょう

- ・他の利用者の迷惑になるような行為は慎みましょう。
- ・室内での飲食物は原則禁止ですが、昼食時の利用に限り許可制で認めています。
- ・使用した図書や椅子などは必ず元の場所に戻して下さい。

2年間にわたり図書館の思い出等を綴ってくださった前校長先生がご退職なさいました。教員であり、詩人でもあり続けた塚本敏雄先生。今回は先生ご自身の詩を皆さんにご紹介します。

### 春の宇宙を

ある会議に出席した午後の帰り道  
 小さな町のはずれの  
 小さな橋を車で渡った  
 一瞬  
 土手沿いの  
 菜の花の咲きほこる小道を  
 傘をさした二人の小学生が歩いていく  
 光景が見えた



そこは  
細かい雨が降りそそぐ球形の宇宙  
球形の宇宙がふわふわと  
移動していく

真新しいランドセルを背負い  
黄色い帽子をかぶり  
黄色い傘をくるくる廻し  
何やらしきりに話しながら  
帰っていく男の子と女の子  
たぶん他愛のない話なのだろう



だが

わたしにしても  
うらうらと益体もない話ばかりしながら  
いつのまにか  
何十年も過ぎてしまった  
菜の花の咲く小道から  
会議帰りの弛めたネクタイまでの距離

「帰り道には十分に気をつけなさい」

担任の先生もたぶん  
君たちにそう言ったことだろう  
とおい昔  
昼下がりの緩やかな光が差し込む木造教室で  
幼かったわたしも  
そんな声を聞いたような気がする



塚本敏雄 『見晴らしのいいところまで』書肆山田 より

**【新着本の紹介】** ※皆さんからのリクエストも、図書館カウンターにて受付中です。

☆「奇譚ルーム」はやみねかおる

奇譚を語り合うはずの SNS は、突然殺人者に支配された！SNS の仮想空間「ルーム」に隠された、真の目的とは何か。「江戸川乱歩風？」心理ミステリーの傑作です。

☆「いちごの唄」岡田恵和×峯田和伸

NHK 朝ドラ「ちゅらさん」「ひよっこ」などで知られる脚本家・岡田恵和が書き下ろした青春物語で、昨年夏には映画化もされました。一年に一度の切ない約束とは？

☆「ばくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」ブレディみかこ

子どもの世界は、大人の世界を映す鏡のよう！著者の息子が通う英国の元・底辺中学校では毎日事件が起こる。ジェンダー・アイデンティティ・人種差別といった様々な問題に出会い、悩み考え、乗り越えていく親子の成長物語。2019 ノンフィクション本大賞受賞作品です。